



2026年度

新牛飼橋

福山市駅家町地内

橋梁修繕工事 実施設計書

工 事 概 要	当初設計	
	工事延長 L=24.1m	
	橋長 L=24.1m	
	幅員 W=5.3m	
	ゴム支承表面保護工 A=0.3m ²	
	防護柵工 L=47.8m	
	ひび割れ補修工 L=2.6m	
	表面保護工 A=327m ²	
	排水装置取替工 N=4基	
	水切工 L=48.0m	
	伸縮目地工 L=15.8m	

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、橋梁修繕工事（新牛飼橋）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和7年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黑板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第5節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第6節 保安施設設置基準について

- ・工事標示板及び工事説明看板の挨拶文の記載については、広島県保安施設設置基準に準じたものにする。

第7節 再生資源利用計画の現場掲示

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第2章 施工条件

第1節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいる。

第2節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいる。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要人数を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第3節 任意仮設

- ・本工事に伴う以下の内容の仮設工は、積算用参考図に見込んでいる。なお、積算用参考図は任意仮設の積算内容を示したものであり、工事目的物を完成させるための一切の手段については、受注者の責任において定めるものとする。
- ・内容：橋梁修繕に関する足場

第4節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

- ・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。

- ・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。

- ・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。

- ・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基き許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。

- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

第3章 その他

第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-08. 06. 01 (0)		《凡例》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種	41 橋梁保全工事		
施工地域・工事場所区分	04 一般交通影響有り(2)		
復興補正区分	00 補正なし		
週休補正区分	00 補正なし		
現場事務所等の貸与区分	00 補正なし		
I C T補正区分	00 補正なし		
冬期補正係数	00 補正なし		
緊急工事区分	00 通常工事 0 %		
前払金支出割合区分	00 補正無し		
契約保証区分	01 金銭的保証(0. 04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
舗装工	1	式			Y1G0304 レベル2
舗装補修工	1	式			Y3900 レベル3
クラック補修工	1	式			Y4900 レベル4
舗装 クラック補修材					F0000000800 00
橋梁支承工	1	セット			Y1G0320 レベル2
ポステンT桁橋支承工	1	式			Y3900 レベル3
ゴム支承表面保護工	1	式			Y4900 レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
支承補修工 ゴム支承用耐候性表面保護	1	式			V000000100 00 単第0 -0001 表
橋梁付属物工	1	式			Y1G0321 レベル2
橋梁用防護柵工	1	式			Y1G032105 レベル3
橋梁用防護柵	1	式			Y1G03210501 レベル4
防護柵設置工 ベースプレート式 笠木付 支柱H950	1	m			V000000600 00
橋梁補修工	1	橋			単第0 -0002 表 Y1G0324 レベル2
ひび割れ補修工	1	式			Y1G032404 レベル3
低圧注入工法 【材料種類】	1	式			Y1G03240402 レベル4
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長25m未満の場合	1	構造物			S1020035 00 単第0 -0005 表

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
断面修復工	1	式			Y1G032405 レベル3
左官工法 【材料種類】 【鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有無】		構造物			Y1G03240501 レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.12m3	1	構造物			S1020041 00 単第0 -0006 表
亜硝酸リチウム40%水溶液	9.04	kg			F0000001800 00
表面保護工	1	式			Y3900 レベル3
下地処理工					Y4900 レベル4
下地処理 サンダーケレン	327	m2			F0000000600 00
表面含浸工					Y4900 レベル4
表面含浸工 含浸材塗布 シラン系	327	m2			V000000250 00 単第0 -0007 表

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
排水装置取替工					Y3900 レベル3
	1	式			
天板プレート一体型排水装置					Y4900 レベル4
排水装置設置工					V000000500 00
	1	橋			単第0 -0008 表
水切工					Y3900 レベル3
	1	式			
水切工					Y4900 レベル4
水切材設置 橋梁床版用後付け型水切					V000000300 00
	48	m			単第0 -0009 表
伸縮目地工					Y3900 レベル3
	1	式			
伸縮目地					Y4900 レベル4
伸縮装置工 ゴム状高弾性目地材 TS目地ガードN相当品					V000000400 00
	16	m			単第0 -0010 表

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物撤去工					Y1G0327 レベル2
	1	式			
構造物取壊し工					Y1G032706 レベル3
	1	式			
コンクリート取壊し運搬処理 【構造物区分, 工法区分】					Y1G03270614 レベル4
		m3			
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 機械施工					SDT00033 00
	3	m3			単第0 -0011 表
チップング (厚2cm以下)					SPK25040371 00
	19	m2			単第0 -0012 表
殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離14.4km以下(10.9km超)					SPK25040155 00
	3	m3			単第0 -0013 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
受入費 Co殻 有筋					F0000001900 00
	8	t			
仮設工					Y1G0328 レベル2
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
足場工					Y3900 レベル3
	1	式			
吊足場					Y4900 レベル4
仮設工					V000000700 00
	1	式			単第0 -0014 表
交通管理工					Y1G032821 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1G03282101 レベル4
		人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	52	人			
直接工事費 #0020計=支給品等(材料), 無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊ ＊ 共通仮設費計 ＊ ＊					
＊ ＊ 純工事費 ＊ ＊					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊ ＊ 工事原価 ＊ ＊					
一般管理费率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
＊ ＊ 工事価格 ＊ ＊					
＊ ＊ 消費税相当額 ＊ ＊ 計算情報…… 対象額…… 率……					

本工事費 内訳表

頁0 -0009

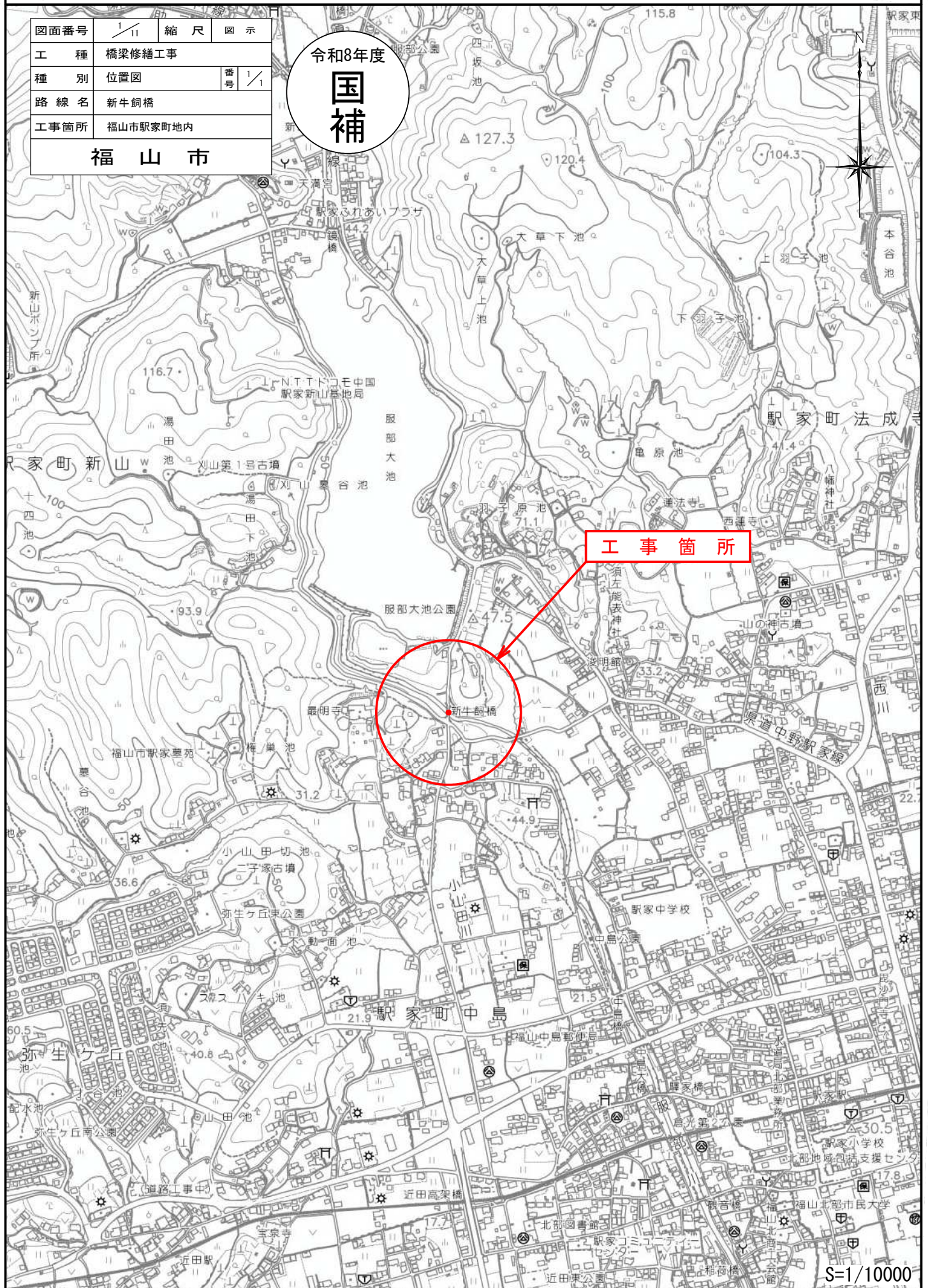
[illegible]

位置図

図面番号	1 — 11	縮 尺	図 示
工 種	橋梁修繕工事		
種 別	位置図	番号	1 — 1
路 線 名	新牛飼橋		
工事箇所	福山市駅家町地内		
福 山 市			

令和8年度

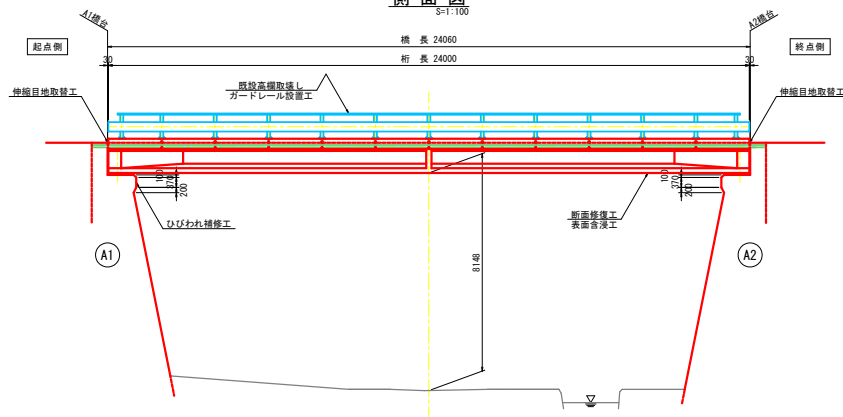
国補



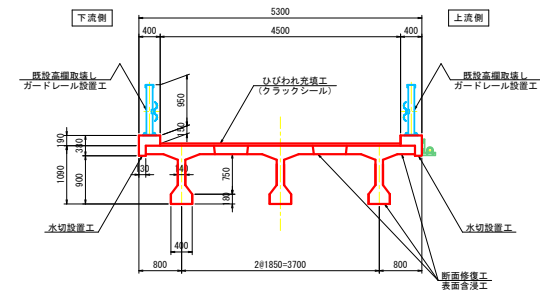
S=1/10000

新牛飼橋 補修対策工一般図

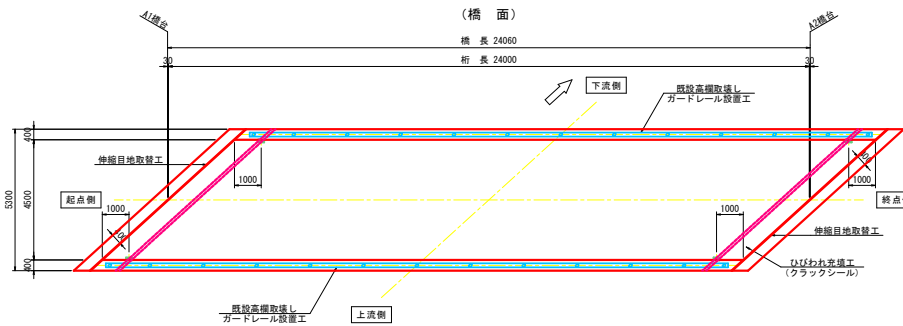
側面図
S=1:100



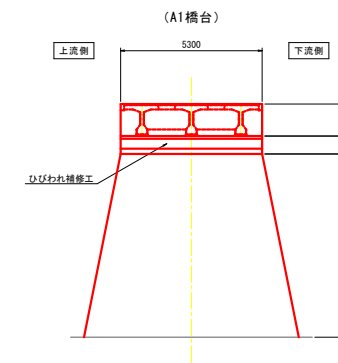
上部工断面図
S=1:50



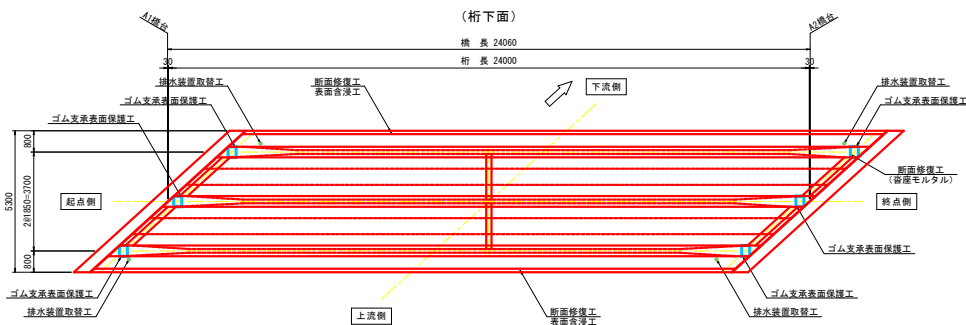
平面図
S=1:100
(橋面)



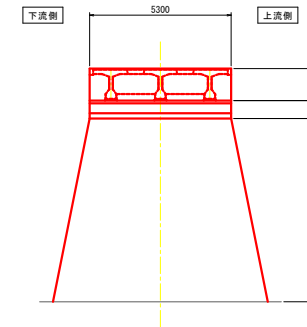
下部工正面図
S=1:100



(桁下面)



(A2橋台)



図面を縮小しています。(A1→A2)

工事名	橋梁修繕工事 (新牛飼橋)		
図面名	補修対策工一般図		
作成年月日	2026年6月		
縮尺	図示	図面番号	2 / 11
工事箇所	福山市駅家町地内		
	福山市		



新牛飼橋 補修図（その2）

断面修復工

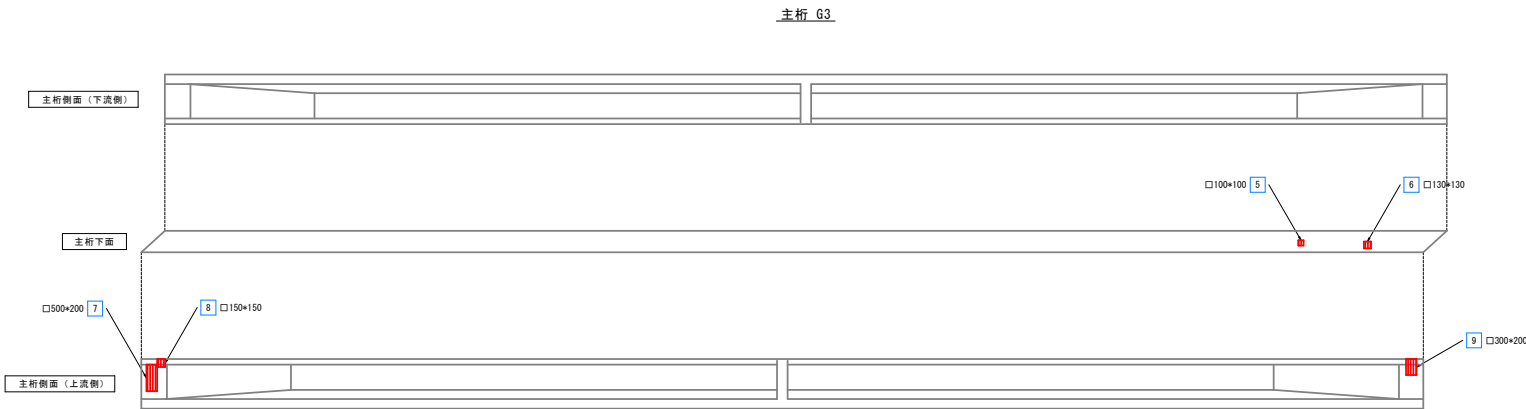
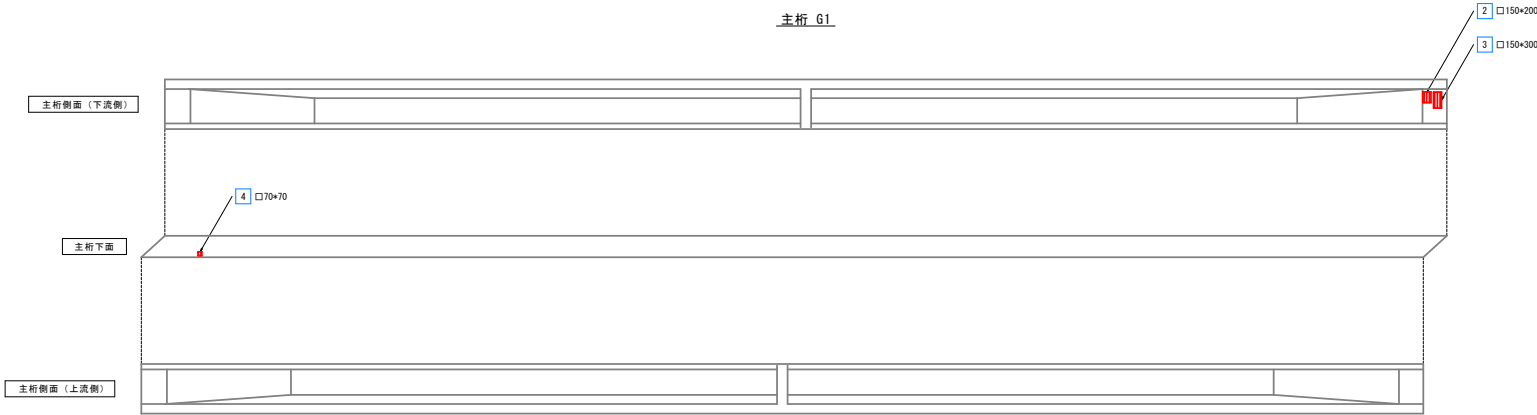
S-1:50

凡 例

	鉄 × 鉄 (mm)		断面修復工（左官工法）
---	---------------	---	-------------

特記事項

- 補修範囲については、施工状況を確認しながら適時変更して決定すること。
- 左官工法のはつり深さは、50mmと想定。



- 注）1. 施工時には、再調査の上、図面整合等確認ののち、施工を行うこと。
2. 施工時に発生する粉塵や騒及び補修材料が、河川内や周辺環境に影響しないよう適切な防護等を行うこと。
3. 鉄筋が断面欠損している場合、同等鉄筋を添え筋すること。
4. 添え筋範囲・長さ等は、はつり後に鉄筋の状況等を確認して決定すること。

図面を縮小しています。（A1→A3）

工事名	橋梁修繕工事（新牛飼橋）			
図面名	補修図（ 2 / 9 ）			
作成年月日	2026年6月			
縮尺	図 示	図面番号	4 / 11	
工事箇所	福山市駅家町地内			
	福 山 市			



新牛飼橋 補修図（その3）

断面修復工
ゴム支承表面保護工

S=1:50

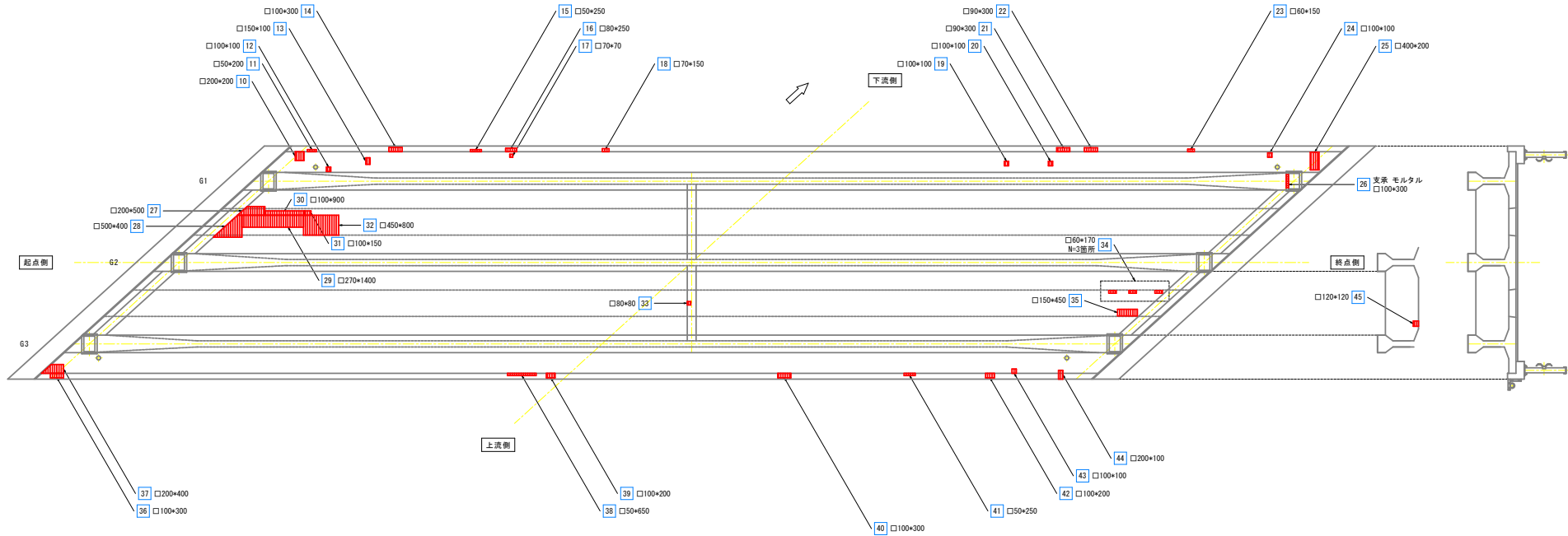
凡 例

■ 補修範囲 (mm) □ 断面修復工 (左官工法)

特記事項

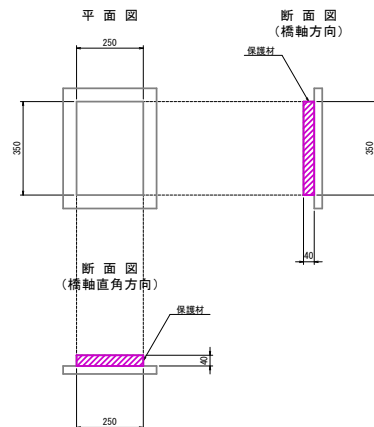
- 補修範囲については、施工状況を確認しながら適時変更して決定すること。
- 左官工法のはつり厚さは、50mmと想定。

桁下面



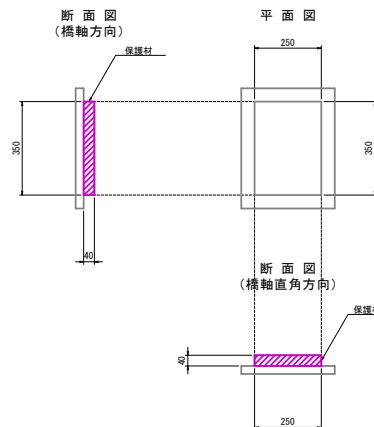
A1橋台支承

※ゴム支承表面保護工は、支承4面に塗布を行う。



A2橋台支承

※ゴム支承表面保護工は、支承4面に塗布を行う。



- 注) 1. 施工時には、再調査の上、図面整合等確認ののち、施工を行うこと。
2. 施工時に発生する粉塵や騒音が、河川内や周辺環境に影響しないよう適切な防護等を行うこと。
3. 鉄筋が断面欠損している場合、同等鉄筋を添え筋すること。
4. 添え筋範囲・長さ等は、はつり後に鉄筋の状況等を確認して決定すること。

図面を縮小しています。(A1→A3)

工事名	橋梁修繕工事（新牛飼橋）			
図面名	補修図（ 3 / 9 ）			
作成年月日	2026年6月			
縮尺	図 示	図面番号	5 / 11	
工事箇所	福山市駅家町地内			
福 山 市				



新牛飼橋 補修図（その4）
ひびわれ補修工

S=1:50

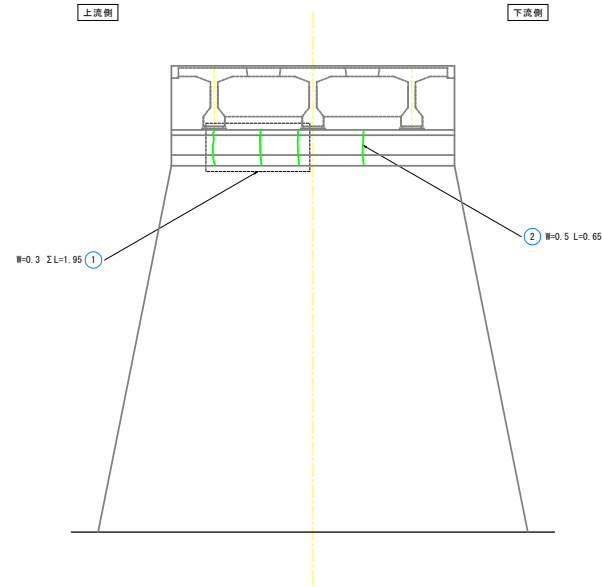
凡 例

 補、表示 (箇) (箇)	○ ひびわれ注入工法
---	------------

特記事項

1. 補修範囲については、施工状況を確認しながら適時変更して決定すること。

A1橋台



- 注) 1. 施工時には、再調査の上、図面整合等確認ののち、施工を行うこと。
2. 施工時に発生する粉塵や騒及び補修材料が、河川内や周辺環境に影響しないよう適切な防護等を行うこと。

図面を縮小しています。(A1→A3)

工事名	橋梁修繕工事（新牛飼橋）		
図面名	補修図（ 4 / 9 ）		
作成年月日	2026年6月		
縮尺	図 示	図面番号	6 / 11
工事箇所	福山市駅家町地内		
	福 山 市		



新牛飼橋 補修図（その5）
表面含浸工

5/11:50

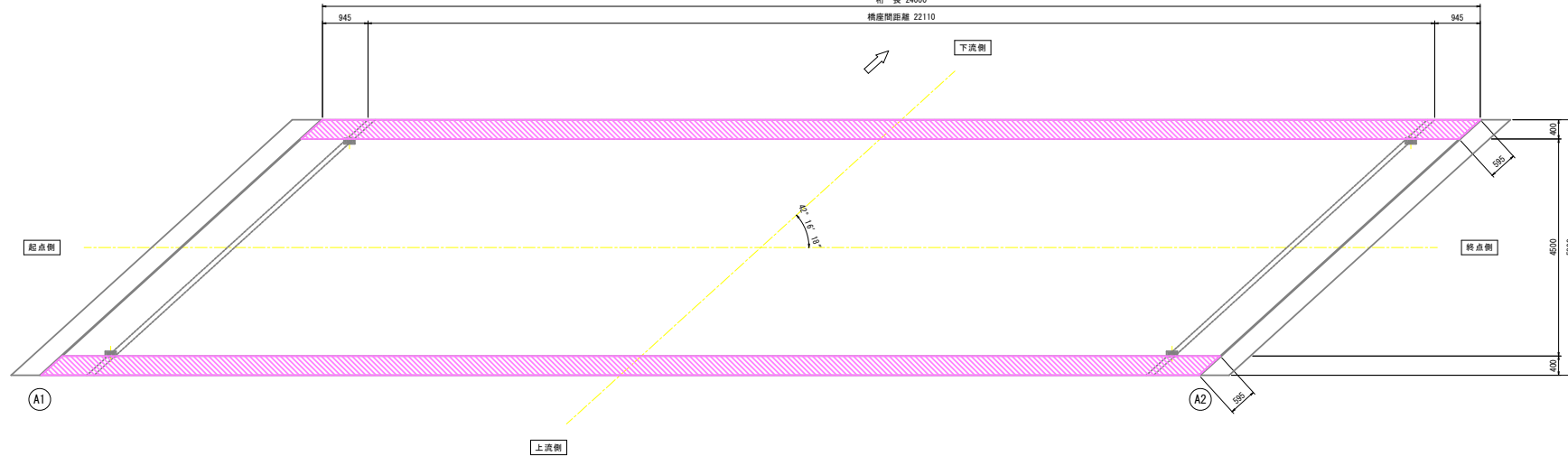
凡 例



平 面 図

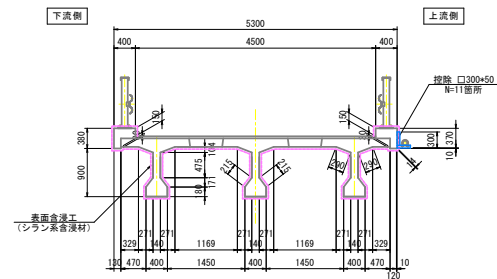
（橋 面）

桁 長 24000
橋座間距離 22110

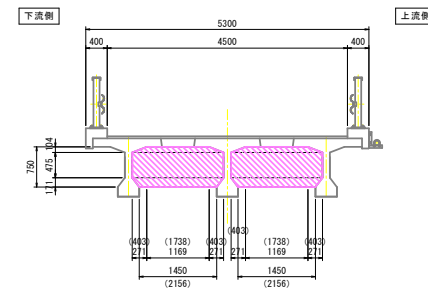


上部工断面図

（標準部）



（横桁部）



※1 () 数値は、端部横桁を示す。
※2 横桁 端部2箇所、中間1箇所
※3 横桁の厚さは、0.2m

図面を縮小しています。（A1～A3）

工事名	橋梁修繕工事（新牛飼橋）		
図面名	補修図（ 5 / 9 ）		
作成年月日	2026年7月		
縮尺	図 示	図面番号	7 / 11
工事箇所	福山市駅家町地内		
福 山 市			

- 注）1. 施工時には、再調査の上、図面整合等確認ののち、施工を行うこと。
2. 施工時に発生する粉塵や段及び補修材料が、河川内や周辺環境に影響しないよう適切な防護等を行うこと。
3. 表面含浸工は、断面修復を実施した後に施工すること。

新牛飼橋 補修図（その6）

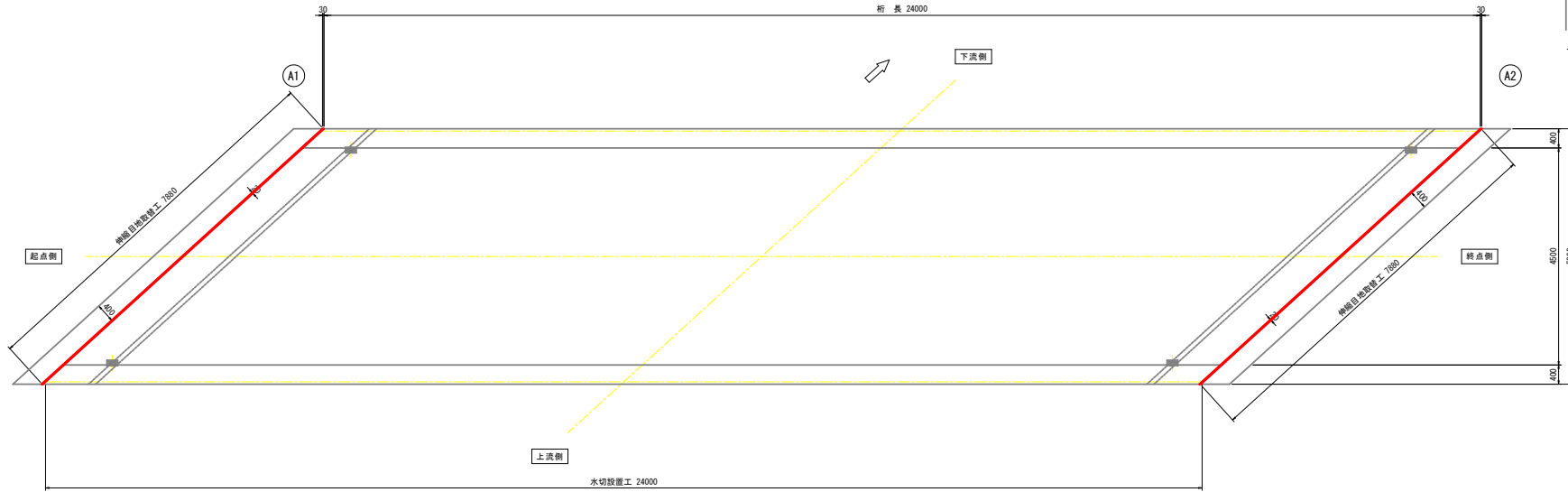
伸縮目地取替工
水切設置工

S=1:50

平面図

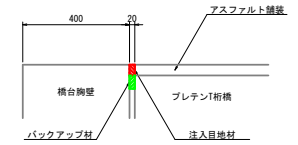
（橋 面）

桁 長 24000

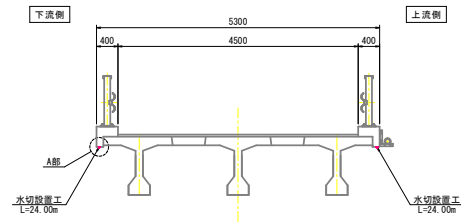


断面図

S=1:10

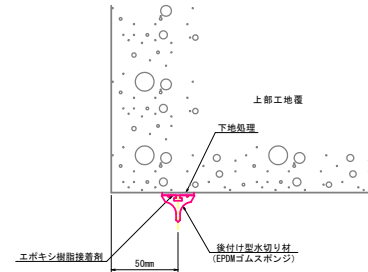


上部工断面図



A部詳細

S=1:2



注）1. 施工時には、再調査の上、図面整合等確認ののち、施工を行うこと。

図面を縮小しています。（A1～A3）

工事名	橋梁修繕工事（新牛飼橋）		
図面名	補修図（ 6 / 9 ）		
作成年月日	2026年7月		
縮尺	図 示	図面番号	8 / 11
工事箇所	福山市駅家町地内		
	福 山 市		

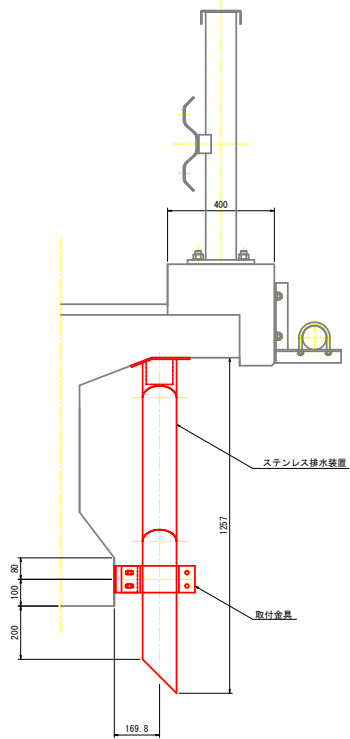


新牛飼橋 補修図（その7）

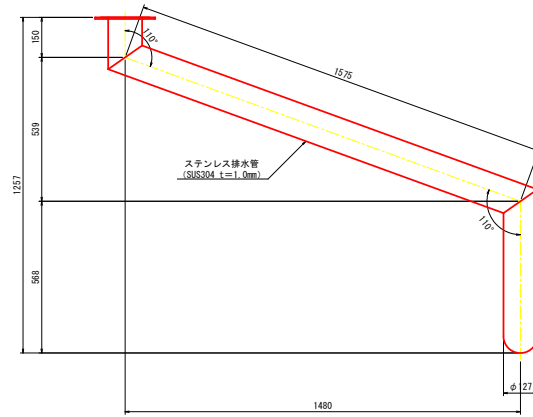
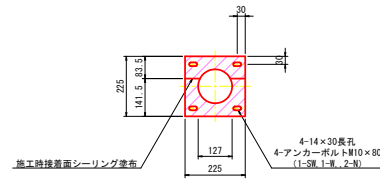
排水装置取替工

S=1:10

断面図
S=1:10



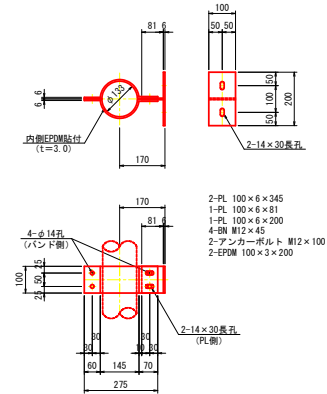
天板プレート一体型排水装置 ステンレス排水装置



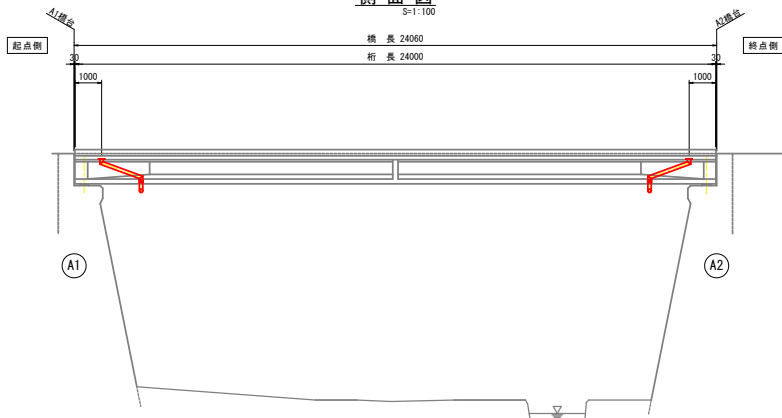
※ステンレス排水装置②は、反転形状とする。

取付金具詳細図
S=1:10

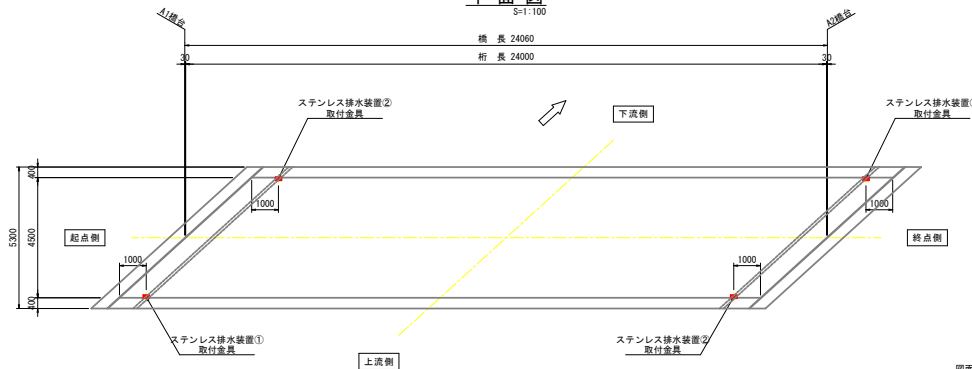
製作数=4



側面図
S=1:100



平面図
S=1:100



- 注) 1. 特記なき材質はすべてSUS304とする。
2. 排水装置はステンレス排水装置に準ずる。
3. 天板プレート一体型排水装置は、NETIS No. GB-190003-AIに準ずる。
4. t=2.0未満のステンレス鋼材溶接部内外面に対し耐食性向上の措置を講じる。
5. 現地調査にて寸法確定後製作する。

図面を縮小しています。(A1→A3)

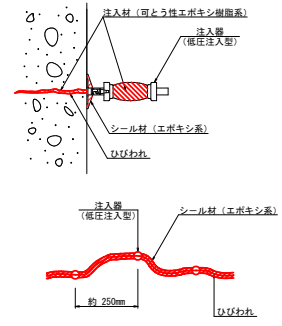
工事名	橋梁修繕工事（新牛飼橋）			
図面名	補修図（ 7 / 9 ）			
作成年月日	2026年7月			
縮尺	図 示	図面番号	9 / 11	
工事箇所	福山市駅家町地内			
福 山 市				

令和7年度
国補

新牛飼橋 補修図（その9）
補修要領図

S-1.59

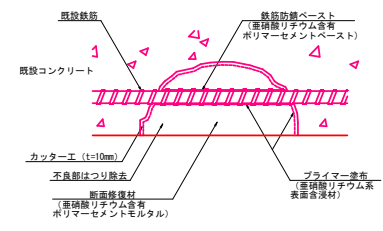
ひび割れ注入工（参考図）



注）遊離石灰が発生し、ひび割れが目詰まりしている箇所はドリル等で注入孔を確保して行うこと。

- 作業開始
- 損傷調査
- ひびわれ周囲の洗浄
- 注入孔設定
- シール材塗布及び注入器具取付
- 注入材注入
- シール材及び注入器具撤去
- 作業終了

断面修復工（参考図）

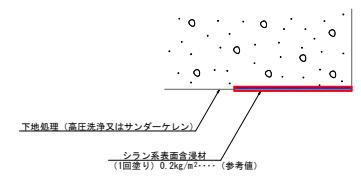


断面修復工 施工フロー

- 脆弱部の除去
鉄筋の除錆
 - ・コンクリートの脆弱部（うき）の除去
 - ・鉄筋表面の錆び落とし
- 水洗い・清掃
 - ・修復箇所の水洗い、清掃
- 鉄筋の防錆処理
 - ・鉄筋防錆剤の塗布
- プライマー塗布
 - ・プライマーの塗布（断面修復材に添加する場合は不要）
- 断面修復（左官工法）
 - ・ポリマーセメントモルタルによる断面修復
- 後工程
 - ・養生

注1）鉄筋までハツリ出すること。
注2）鉄筋腐食が確認された際は、鉄筋の裏側までハツリ防錆処理を施すこと。
注3）防錆処理は、ディスクサンダー等にてさびを落とし、亜硝酸リチウム水溶液を注入した断面修復材を鉄筋防錆材として塗布する。

表面含浸工（参考図）



<表面含浸工含浸材 使用>
含浸材は、シラン系（アクアシール1400同等品）とする
(NETIS：KT-070047-V)

- 作業開始
- 養生
- 清掃・洗浄
- 保護材塗布
- 作業終了

図面を縮小しています。（A1～A3）

図面が揃っています。(A1~A5)				
工事名	橋梁修繕工事（新牛飼橋）			
図面名	補修図（ 9 / 9 ）			
作成年月日	2026年7月			
縮尺	図 示	図面番号	11 / 11	
工事箇所	福山市駅家町地内			
福 山 市				



以下 参考図書

施工単価表

頁0 -0010

支 承 補 修 工

V000000100

單第0 -0001 表

式 当り

ゴム支承用耐候性表面保護

[illegible]

施工単価表

頁0 -0011

防護柵設置工

V000000600

單第0 -0002 表

ベースプレート式 笠木付 支柱H950

1 橋 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0012

防護柵設置費

V0000000610

單第0 -0003 表

ベースプレート式 笠木付 支柱H950

30

m

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0013

アンカー設置費

V0000000620

單第0 -0004 表

25

組

当り

[illegible]

施工単価表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)
補修延べ延長25m未満の場合

S1020035

単第0 -0005 表

1 構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.500	人			
特殊作業員	2.400	人			
普通作業員	1.800	人			
注入材 エポキシ樹脂系3種	0.142	kg			
ひび割れ注入工 シール材 エポキシ樹脂系	0.485	kg			
ひび割れ注入工 低圧注入器具	11.000	個			
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=300 【F】 注入材(kg) C=400 【F】 シール材(kg) E=500 【F】 低圧注入器具(個)			B=0.142 注入材の必要数量(kg/構造物) D=0.354 シール材の設計数量(kg/構造物) F=11 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)		

施工単価表

断面修復工(左官工法)
(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む)

S1020041
修復延べ体積0.12m3

単第0 -0006 表

1 構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	3.360	人			
特殊作業員	6.360	人			
普通作業員	3.360	人			
ポリマーセメントモルタル 亜硝酸リチウム含有	0.142	m3			
諸雑費	8	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=0.12 1構造物当り修復延べ体積(m3/構造物) C=0.12 断面修復材の設計数量(m3/構造物)			B=1700 【F】断面修復材(m3)		

施工単価表

頁0 -0016

表面含浸工
含浸材塗布

V000000250

單第0 -0007 表

シラン系

100

m2 当り

[illegible]

施工単価表

排水装置設置工

V000000500

単第0 -0008 表

1

橋 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.2	人			
特殊作業員	1.8	人			
普通作業員	1.8	人			
天板プレート一体型排水装置 ステンレス排水装置① SUS304 φ127 t=1.0mm 天板t=6.0mm	2	基			
天板プレート一体型排水装置 ステンレス排水装置② SUS304 φ127 t=1.0mm 天板t=6.0mm	2	基			
取付金具 SUS304	4	組			
諸雑費	5	%			#01
*** 単位当たり ***	1	橋			

施工単価表

頁0 -0018

水切材設置

V000000300

單第0 -0009 表

橋梁床版用後付け型水切

[illegible]

施工単価表

伸縮装置工
ゴム状高弾性目地材 TS目地ガードN相当品

V000000400

単第0 -0010 表

10 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
防水工	1	人			
土木一般世話役	1	人			
普通作業員	1	人			
目地材 TS目地ガードN相当品 20×40mm	13.4	kg			
バックアップ材	10	m			
諸雑費	30	%			#01
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施工単価表

頁0 -0020

構造物とりこわし工(鉄筋構造物)

SDT00033

單第0 -0011 表

機械施工

1

m3

当り

[illegible]

施工単価表

チップング（厚2cm以下）

SPK25040371

単第0 -0012 表

機械構成比：0.00% 労務構成比：100.00% 材料構成比：0.00% 市場単価構成比：0.00% 1 m2 当り
標準単価：8,649.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
特殊作業員	72.00%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.57%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	10.03%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

殻運搬

SPK25040155

単第0 -0013 表

Co(鉄筋)構造物とりこわし

DID区間無し 運搬距離14.4km以下(10.9km超)

1

m3

当り

機械構成比: 40.77%

労務構成比: 44.82%

材料構成比: 14.41%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,580.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	40.77%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	44.82%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2〜4KL積載車給油	14.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 C=1 E=1 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間無し -(全ての費用)			B=1 D=50 機械積込 運搬距離14.4km以下(10.9km超)		

施工単価表

頁0 -0023

仮設工

V000000700

单第0 -0014 表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0024

足場工(床版補強工)

S3030011

單第0 -0015 表

桁高1.5m未満

m2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0025

足場工（朝顔）（床版補強工）
両側朝顔

S3030013

單第0 -0016 表

m 2 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0026

防護工（床版補強工）

S3030015

單第0 -0017 表

板張防護工	両側朝顔					1	m 2	当り
-------	------	--	--	--	--	---	-----	----

[illegible]

施工単価表

頁0 -0027

防護工（床版補強工）

S3030015

單第0 -0018 表

シート張防護工

両側朝顔

1

m 2

当り

[illegible]

1. 新牛飼橋 補修数量

1.1 数量総括表

工種	名 称	規 格 ・ 寸 法	単位	数 量	摘 要
ひびわれ注入工	ひびわれ延長	0.2mm～0.5mm未満	m	1.95	
		0.5mm～1.0mm未満	m	0.65	
		1.0mm以上	m	—	
		合計	m	2.60	
	クラック延長処理		m	2.60	
	注入材	エポキシ樹脂	kg	0.14	ロス率30%, 0.042kg/m
	シーল材		kg	0.48	ロス率37%, 1700kg/m ³
	低圧注入器具	0.3Mpa	個	11	
断面左官修復工	はつり工	はつり	m ³	0.12	
	防錆処理工	亜硝酸リチウム含有 ポリマーセメントペースト	m ²	4.18	
	断面修復工	亜硝酸リチウム含有 ポリマーセメントモルタル	m ³	0.12	亜硝酸リチウム40%水溶液必要量 9.04kg/m ³
	コンクリート殻		m ³	0.12	
表面含浸工	下地処理	高圧洗浄又はサンダーケレン	m ²	327.41	
	表面含浸工	シラン系表面含浸材	m ²	327.41	シラン系含浸材必要量 64.8kg
舗装補修工	クラック補修材	幅2mm×深さ10mm	m	3.70	
既設高欄取壊工	現況高欄取壊し工		m ³	3.23	
	コンクリート殻		t	3.23	
	チップング		m ²	19.20	
ゴム支保工表面保護	支承補修工		m ²	0.288	
		ソフト（クラック用）	本	1.00	
排水装置取替工	天板プレート型排水装置	ステンレス排水装置①（SUS304）	基	2	
		ステンレス排水装置②（SUS304）	基	2	
		取付金具（SUS304）	組	4	
水切工	後付け型水切り材	EPDMゴムスポンジ	m	48.00	
伸縮目地工	既設伸縮目地撤去工		m	15.76	
	注入目地材延長		m	15.76	
	注入目地材	20mm×40mm	ℓ	12.61	
	バックアップ材	20mm×50mm	m	15.76	
防柵工	ガードレール工	Gr-C-2B-4-BPL/PY-F2（トク）	m	47.81	
仮設工	吊足場		掛m ²	116.12	板張り、シート張り防護

1.2 ひびわれ補修工

1. ひびわれ注入工

種別	規格	計算式	単位	数量
クラック処理延長		次頁参照	m	2.60
注入材 (エポキシ樹脂)	ロス率30% 0.042kg/m	$2.60 \times 0.042 \times (1.00 + 0.30)$	kg	0.142
シール材	ロス率37% 1700kg/m ³	$2.60 \times 0.040 \times 0.002 \times 1700 \times (1.00 + 0.37)$	kg	0.484
低圧注入器具	0.3Mpa	$2.60 \div 0.250$	個	11

注入工

(1) 注入延長＝ひびわれ延長 設計量：W1 (kg) = (1m当り注入材重量kg/m) × L (m)

(2) 注入材重量

※1m当り注入材重量の算出

1m当り注入材重量は、下記と想定し算出する。

平均ひびわれ幅：W = 0.035 cm → 0.35 mm

平均ひびわれ深さ：D = 200 mm

$$\begin{aligned}
 \text{1m当り注入材重量} &= W \times D \times 1/2 \times \gamma_1 \\
 &= 0.00035 \times 0.2 \times 1/2 \times 1200 \\
 &= 0.042 \text{ kg/m}
 \end{aligned}$$

必要量：W1' (kg) = W1 (kg) × (1.00 + ロス率)

W : ひびわれ幅

D : ひびわれ深さ

L : ひびわれ延長

γ_1 : 注入材比重 = 1200 kg/m³

ロス率 = 0.30

(3) シール材重量

設計量：W2 (kg) = B (m) × L (m) × t (m) × γ_2 × (1.00 + 補正率)

必要量：W2' (kg) = W2 (kg) × (1.00 + ロス率)

B : シール材幅 = 0.04 m

t : シール材厚 = 0.002 m

γ_2 : シール材比重 = 1700 kg/m³

ロス率 = 0.37

2. ひびわれ延長集計表

部位	ひびわれ数量 (m)		
	ひびわれ注入工		
	0.2～0.5mm未満	0.5～1.0mm未満	1.0mm以上
下部工	1.95	0.65	—
合計	1.95	0.65	—

3. ひびわれ延長数量計算書

[illegible]

※深さは、20cmと想定する。

1.3 断面修復工

1. 断面修復工（左官工法 亜硝酸リチウム含有）

(1) はつり工

$$V = 0.120$$

$$\Sigma V = 0.120 \text{ m}^3$$

(2) 防錆処理工

$$A = 4.183$$

$$\Sigma A = 4.183 \text{ m}^2$$

$$\times 1.03 \text{ : ロス率} = 4.308 \text{ m}^2$$

(3) 断面修復工

$$V = 0.120$$

$$\Sigma V = 0.120 \text{ m}^3$$

$$\times 1.18 \text{ : ロス率} = 0.142 \text{ m}^3$$

(4) コンクリート殻

$$V =$$

$$= 0.120 \text{ m}^3$$

$$W = 0.120 \times 2.35 \text{ (t/m}^3\text{)}$$

$$= 0.28 \text{ t}$$

2. 断面修復工数量計算書

[illegible]

リハビリ断面修復工法 プロコン40(亜硝酸リチウム40%水溶液)必要量の算定

使用材料: プロコン-40 (亜硝酸リチウム濃度 = 40 %)

前提条件: 塩化物イオン量 = 2.05 (kg/m³)

モル比 = 1.0

各原子(分子)量 [Cl] = 35.45

[Li] = 6.941

[N] = 14.01

[O] = 16.00

[LiNO₂] = 6.941 + 14.01 + 16.00 × 2 = 52.95

※ 塩害対策の場合は、塩化物イオン量の最大値(A)、中性化対策の場合は、塩化物イオン量 = 2.00kg/m³(B)とする。複合劣化の場合は、AとBいずれか大きい方の値とする。

亜硝酸リチウム必要量

= コンクリート中の塩化物イオン量 × (亜硝酸リチウムの分子量/塩化物イオンの分子量) × モル比

= 2.05 × (52.95 / 35.45) × 1.0 = 3.062 (kg/m³) ……①

プロコン40(亜硝酸リチウム40%水溶液)必要量

= ① × (100/亜硝酸リチウム濃度)

= 3.062 × (100 / 40) = 7.66 (kg/m³)

⇒ロス率(1.18)考慮 9.04 (kg/m³)

1.4 表面含浸工

1. 表面含浸工

(1) 下地処理 (高圧洗浄又はサンダーケレン)

$$A = 327.41$$

$$\Sigma A = 327.41 \text{ m}^2$$

(2) シラン系含浸材 (0.18kg/m²)

$$A = 327.41$$

$$\Sigma A = 327.41 \text{ m}^2$$

部位	下向き施工	横向き施工	上向き施工
上部工地覆	19.20	27.17	6.00
上部工桁下面	—	123.09	137.39
上部工横桁	—	12.26	2.30
上部工合計	19.20	162.52	145.69
総合計	327.41		

含浸材塗布量 0.18kg/m² ロス率10%

$$327.41 \times 0.18 \times 1.1$$

$$= 64.83 \text{ kg}$$

[illegible]

1.5 舗装補修工数量

1. 舗装補修工数量計算書

番号	部 位	寸 法 (m)	数量	備 考
	クラックシール	幅2.0mm×深さ10mm		
	クラック補修材			
①		1.600 × 1	1.600	
②		2.100 × 1	2.100	
	合計		3.700	m

1.6 現況高欄取壊し工数量

1. 現況高欄取壊し工数量計算書

番号	部 位	寸 法 (m)	数量	備 考
	現況高欄取壊し工			
①		0.250 × 0.750 × 24.000 × 2	9.00	※0.250 平均幅
②		0.260 × 0.600 × 1.300 × 26	-5.27	※0.260 平均幅
③		0.260 × 0.600 × 1.600 × 2	-0.50	※0.260 平均幅
	合計		3.23	m ³
コンクリート殻 W= 3.23 × 2.50 t/m ³ = 8.08 t				

番号	部 位	寸 法 (m)	数量	備 考
	チップング			
①		0.400 × 24.000 × 2	19.20	
	合計		19.20	m ²

1.7 ゴム支承表面保護工数量

1. ゴム支承表面保護工数量計算書

番号	部 位	寸 法 (m)	数量	備 考
		保護材		
①	A1橋軸方向	0.250 × 0.040 × 2 × 3	0.060	
②	A1橋軸直角方向	0.350 × 0.040 × 2 × 3	0.084	
③	A2橋軸方向	0.250 × 0.040 × 2 × 3	0.060	
④	A2橋軸直角方向	0.350 × 0.040 × 2 × 3	0.084	
	合計		0.288	m ²

1.8 排水装置取替工数量

1. 排水装置取替工数量計算書

番号	部 位	寸 法 (m)	数量	備 考
	天板プレート一体型排水装置			
①	ステンレス排水装置① (SUS304)		2	
	合計		2	基
	天板プレート一体型排水装置			
①	ステンレス排水装置② (SUS304)		2	
	合計		2	基
	取付金具			
①	(SUS304)		4	
	合計		4	組

1.9 水切設置工数量

1. 水切設置工数量計算書

番号	部 位	寸 法 (m)	数量	備 考
	水切材	後付け型水切り材 (EPDMゴムスポンジ)		
①	上流側		24.00	
②	下流側		24.00	
	合計		48.00	m

1.10 伸縮目地工数量

1. 伸縮目地工数量計算書

番号	部 位	寸 法 (m)	数量	備 考
	既設伸縮目地撤去工			
①		7.880 × 2	15.760	
	合計		15.760	m
	注入目地材延長 (TS目地ガードN相当)			
①		7.880 × 2	15.760	
	合計		15.760	m
	注入目地材 (20mm×40mm)			
①		0.020 × 0.040 × 7.880 × 1000	6.304	
②		0.020 × 0.040 × 7.880 × 1000	6.304	
	合計		12.608	ℓ
	バックアップ材 (20mm×50mm)			
①		7.880 × 2	15.760	
	合計		15.760	m

1.11 防護柵工数量

1. 防護柵工数量計算書

番号	部 位	寸 法 (m)	数量	備 考
	ガードレール工	Gr-C-2B-4-BPL/PY-F2 (トク)		
①		23.903 × 2	47.806	
	合計		47.806	m

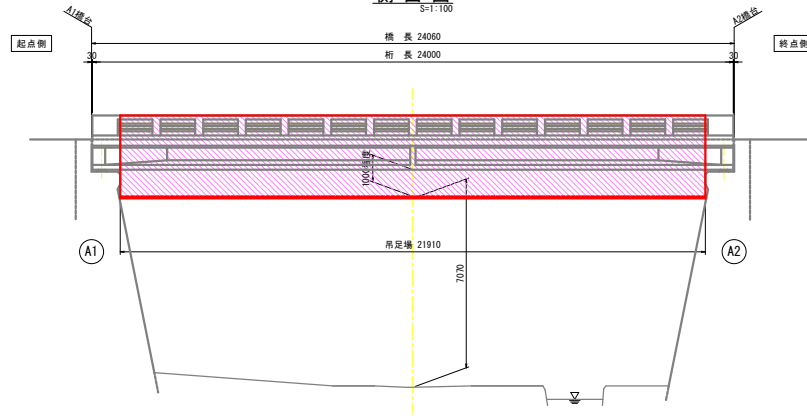
1.12 仮設工数量

1. 仮設工数量計算書

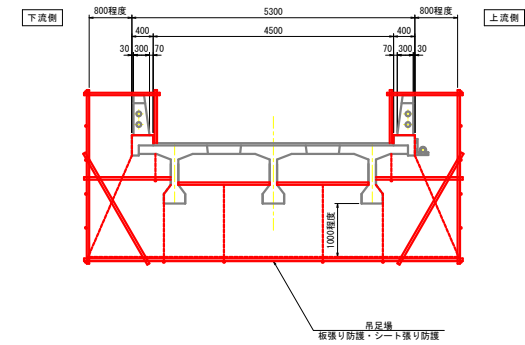
番号	部 位	寸 法 (m)	数量	備 考
	吊足場	仮設参考図参照		
①		5.300 × 21.910	116.12	
	合計		116.12	m ²

新牛飼橋 仮設参考図
(上・下部施工時)

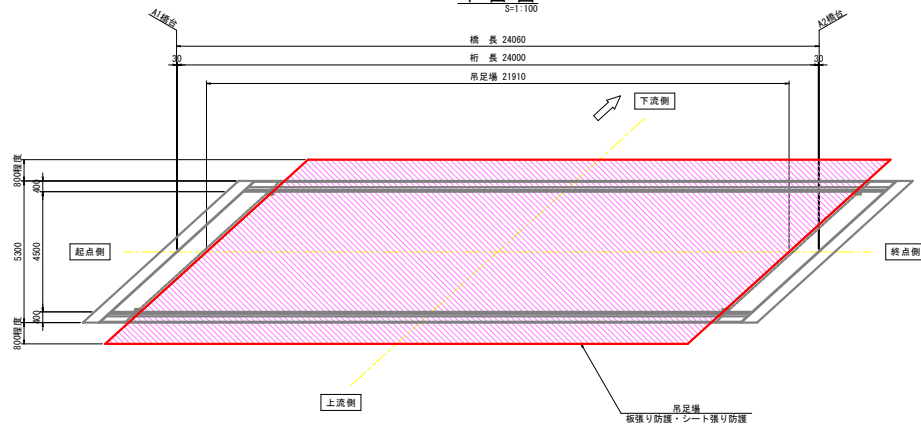
側面図
S=1:100



上部工断面図
S=1:50



平面図
S=1:100



- 注) 1. 粉塵等の飛散や騒音対策、補修材が河川内へ流出するのを防ぐため、板張り防護及びシート張り防護を設置し、十分な養生を行うこと。
2. 施工時においては、事前に発注者及び河川管理者と河川条件や仮設方法について協議、確認のうえ実施されたい。

国補

図面を縮小しています。(A1→A3)

工事名	橋梁修繕工事（新牛飼橋）		
図面名	仮設参考図（上・下部施工時）		
作成年月日	2026年6月		
縮尺	図 示	図面番号	1 / 1
工事箇所	福山市駅家町地内		
福 山 市			